

参院憲法審査会、折り合わず

時事通信 2019年06月18日19時19分



参院憲法審査会幹事懇談会に臨む柳本卓治会長（奥中央）ら＝18日午後、東京・永田町の参院議員会館

参院憲法審査会は18日、幹事懇談会を行った。幹事懇は国会初めて。与党側は19日の憲法審査会を提案したが、野党と意見が折り合わず見送りを決めた。懇談会に先立ち、立憲民主、共産両党は「(開催は)筆頭間で合意に至っていない」と抗議し、退席した。

1年ぶり「党首討論」 首相と野党党首が激突の45分間

朝日新聞デジタル 2019年6月18日20時44分



昨年6月の党首討論で安倍晋三首相(左)に質問する立憲民主党の枝野幸男代表(右)＝国会

党首討論とは

- 英国議会のクエスチョンタイムをモデルに2000年に導入
- 討論時間は45分
- 首相と野党党首が一对一でやりとり。首相も質問可

予想されるテーマ

- 老後資産「2千万円不足」問題
- 「イージス・アショア」配備計画を巡る防衛省の調査ミス
- 10月の消費税率引き上げの是非
- 憲法改正議論
- 首相のイラン訪問の評価
- 日米貿易協議
- 日朝、日ロ関係
- 衆議院の解散・総選挙
- 野党共闘の是非

安倍晋三首相と野党党首による党首討論が19日に開かれる。今国会では初の開催で、昨年6月以来1年ぶり。参院選前の論戦の山場となる。野党側は老後の生活費が2千万円不足するとして金融庁の審議会報告書や、安倍政権の基本姿勢などを軸に据える構えだ。

「2千万円問題」で政権ちぐはぐ 金融庁へ責任転嫁も

党首討論は19日午後3時から。与野党の申し合わせで計45分。持ち時間は、14日の衆参両院の国家基本政策委員会で、立憲民主党が20分、国民民主党が14分、共産党と日本維新の会がそれぞれ5分半と決まった。

野党側は、参院選で争点化を狙うテーマに照準を合わせる。「2千万円不足」問題では、審議会に諮問した麻生太郎金融相が「政府の政策スタンスと違う」と報告書の受け取りを拒否した対応の

是非のほか、年金制度の持続可能性も首相にただす方針だ。

陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の秋田市への配備計画で防衛省の示した調査データに誤りがあった問題や、政府の国家戦略特区に関して毎日新聞が報じた不透明な審査過程問題なども質問が検討されている。

2012年の党首討論では当時の野田佳彦首相が、定数削減を含む選挙制度改革の実現と引き換えに「解散でもいい」と述べ、解散・総選挙が行われた経緯がある。参院選に合わせた衆院解散による衆参同日選の臆測がなお消えない中、安倍首相が衆院解散について言及するかも注目点だ。

党首討論では、安倍首相が野党党首の質問に正面から答えずに自説を展開したり、逆に野党側が長広舌を振るったりするなど、近年はやりとりがすれ違う場面が目立つ。野党が多党化して野党党首の持ち時間が細分化され、討論時間の不足も指摘されている。昨年5月の党首討論後には、立憲民主党の枝野幸男代表が、首相が質問に正面から答えないと「今の党首討論は歴史的意味を終えた」と記者団に述べ、翌月に首相が討論で「歴史的な使命が終わった」と反論する事態になった。

与野党は4月以降、党首討論のあり方の見直しを協議。野党側は少数政党の質疑時間確保のために討論時間の大幅延長を与党に要望したが、与党側は「議論が間に合わない」と難色を示し、今回は従来通り45分で行うこととなった。

登壇する野党党首

- 立憲民主党（20分） 枝野幸男代表
- 国民民主党（14分） 玉木雄一郎代表
- 共産党（5分半） 志位和夫委員長
- 日本維新の会（5分半） 片山虎之助共同代表

19日に党首討論 枝野氏は2千万円問題追及、不信任決議案にも注目

産経新聞 2019.6.18 20:03

安倍晋三首相と野党党首による党首討論が19日に開かれる。立憲民主党の枝野幸男代表は、95歳まで生きるには夫婦で2千万円の蓄えが必要とした金融庁金融審議会の報告書や、地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」をめぐる防衛省の調査結果の誤りを中心に追及する方針だ。首相は夏の参院選に合わせて衆院選を行う衆参同日選を見送る方針を固めているが、首相が衆院解散の行方に触れるかどうか注目される。

討論で焦点となるのは、菅義偉（すが・よしひで）官房長官が「衆院解散の大義になる」と言及した内閣不信任決議案の提出を枝野氏が表明するか否かだ。枝野氏は、解散を誘発しかねない決議案には慎重な姿勢を崩していない。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は18日の記者会見で「日和っているという言い方をしているのはマスコミだ」と責任転嫁したが、社民党の又市征治党首は「不信任案を出さなければ国民は野党が怯んでいると見る」と強調した。

一方、国民民主党の玉木雄一郎代表は、首相のイラン訪問や、日米貿易交渉などを取り上げる考えだ。昨年5月の党首討論でも外交や経済を取り上げ、学校法人「森友学園」問題などの追及に

終始した立憲民主党との違いを際立たせた。

共産党の志位和夫委員長は「2千万円問題」を追及するとみられる。日本維新の会は片山虎之助共同代表が質問に立つ。

迎え撃つ立場の自民党は静観の構えだ。二階俊博幹事長は18日の記者会見で「国民が何を考えているかを念頭に置いた、立派な意味のある意見の開陳などを期待する」と述べた。

“老後2000万円”などめぐり激しい論戦か きょう党首討論

NHK 2019年6月19日 5時00分

安倍総理大臣と野党の党首による党首討論が、19日、1年ぶりに開催されます。参議院選挙を前に、老後の資産形成で「およそ2000万円必要になる」などとした金融庁の審議会がまとめた報告書などをめぐって、激しい論戦が行われる見通しです。

去年6月以来、1年ぶりの開催となる党首討論には、安倍総理大臣と、立憲民主党の枝野代表、国民民主党の玉木代表、共産党の志位委員長、日本維新の会の片山共同代表が出席します。

党首討論では、老後の資産形成で「およそ2000万円必要になる」などとした金融庁の審議会の報告書や、新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備、それに、安倍総理大臣のイラン訪問などをめぐって、激しい論戦が行われる見通しです。

一方、参議院本会議では、19日、児童虐待を防止するため、親による体罰の禁止などを盛り込んだ法案が可決・成立する見通しとなっています。

政府・与党は、来週26日までの国会の会期を延長しない方向で調整を進めている一方、野党側は、安倍総理大臣に対する問責決議案などの提出を検討していて、参議院選挙を前に、終盤国会では、与野党の攻防が展開されることも予想されます。

老後2000万円報告書「質問への答弁控える」政府 閣議決定

NHK 2019年6月18日 13時25分



老後の資産形成で「およそ2000万円必要になる」などとした金融庁の審議会の報告書をめぐり、政府は、報告書を踏まえた質問への回答は控えるとした答弁書を決定しました。

老後の資産形成で「およそ2000万円必要になる」などとした金融庁の審議会の報告書をめぐっては、担当する麻生副総理兼金融担当大臣が受け取らない考えを示しています。

立憲民主党の中谷一馬衆議院議員は質問主意書で、老後に2000万円以上の貯蓄が必要であるとするものの妥当性や、貯蓄できる世帯が今後どのように推移していくのかなどについて、政府の見解をたどしました。

これに対し政府は18日の閣議で「報告書は世間に著しい誤解や不安を与え、政府の政策スタンスとも異なることから、正式な報告書としては受け取らないと決定し、政策遂行の参考とはしない

としたところであり、報告書を前提としたお尋ねにお答えすることは差し控えたい」とする答弁書を決定しました。

大綱から削除

18日決定した認知症対策の大綱では、先月の時点の案に盛り込まれていた「保有資産の活用のための準備」という項目が削除されました。

厚生労働省によりますと、この項目は老後の資産形成で「およそ2000万円必要になる」などとした金融庁の審議会の議論を踏まえたものでした。

案の段階では、この項目には「高齢社会における資産の形成・管理に関する個人の心構えを整理する」などと記されていましたが、その後、金融庁が削除したということです。

野党側“老後最大3千万円”の整合性追及

NNN 2019年6月18日 21:21



いわゆる「老後2000万円」問題で、野党側は金融庁も独自に「老後に最大3000万円が必要」と試算をしていたこととの整合性などについて政府を追及した。

立憲民主党・蓮舫参院幹事長「『最大3000万円、資産形成額がある』これは何ですか」

麻生金融担当相「いわゆる退職後の支出と収入についての一定の仮定を置いた上で、どの程度の資産形成が想定されるかについての試算を行ったものであります」「一番の問題は、全体として不安を招いたというところが最大の問題なんだと思います」

立憲民主党・蓮舫参院幹事長「いや、不安をあおったのはあるものをなかったとした麻生大臣の姿勢ですよ。本来だったら（報告書）を受け取って2000万円が誤解だったら説明をして、それでも不安がなくなるんだったら国会、予算委員会を開いて、審議をして前に進めていくのが政治じゃないですか」

また、蓮舫参院幹事長は、麻生金融担当相が作業部会の報告書を受け取らないことなどについて「時々の都合の良い悪いで、なかったものにするのは、二重基準で、年金の信頼を失墜させる」と追及した。

麻生金融担当相は一連の問題について「金融庁も真摯（しんし）に反省している。役人だけに責任を押しつける考えはない」と釈明した。

首相を追及「年金財政検証」早期公表求める

NNN 2019年6月18日 21:21

参議院の厚生労働委員会では、公的年金の将来的な給付水準の見通しを示す「年金財政検証」をめぐり、野党側が安倍首相に対し早期に公表するよう求めた。

「年金財政検証」は公的年金の財政運営の健全性を5年に一度

チェックするもので、将来的な給付水準の見通しが示される。前回5年前は6月3日に公表されたが今回はまだ公表されておらず、野党側は、夏の参議院選挙の後に先送りしようとしていると指摘している。

立憲民主党・川田龍平議員「この国会終わってから出したり、ギリギリに出して、議論できなくするのはダメです。安倍総理、ぜひ出すと言ってください。そしていつまでに出すのかお答えください」

安倍首相「この財政検証は当然、出すことになっています。こういう問題についてはですね、いわば政争の対象とするのではなくてですね、冷静な議論が大切でございますから、それはですね、まさに確かな検証をしっかりとお示しをするということが、政府としての使命なんだろうと」

安倍首相はまた、いわゆる老後2000万円問題について「高齢者の実態は様々であり、平均での乱暴な議論は不適切だった」と強調した。

今度は「3000万円必要」 金融庁試算で迷走拍車

FNN2019年6月18日 火曜 午後6:48



老後に2,000万円必要とされる問題。

今度は、最大3,000万円必要とする金融庁の試算が浮上。

麻生大臣を野党が追及した。

立憲民主党・蓮舫副代表「立憲民主党の蓮舫です。麻生大臣」

立憲民主党の蓮舫副代表は、口を開くやいなや、麻生金融相を追及。

テーマは、老後2,000万円不足問題。

蓮舫副代表「この報告書、大臣は受け取らないかもしれないが、公文書じゃないですか?」

麻生金融相「報告書はホームページに掲載しておりますので、わたしども、それを取り消して全部隠ぺいするつもりはございません。隠ぺいするつもりはございません」

蓮舫副代表「あるものをなかったとして、“隠ぺいするつもりはない”から“公文書だけで受け取らないで、政府の方針とは違う”と、ちょっと何言っているかわからないのですけども」

6月3日に発表された、「老後に2,000万円が必要」とした有識者による報告書について、火消しに追われてきた政府。

安倍首相「これは不正確であり、誤解を与えるもの」

麻生金融相「政府のこれまでのスタンスと、ここ(報告書)に書かれている内容はかなり違う」

ところが18日、有識者ではなく、当の金融庁が、老後の30年間、夫婦2人で1,500万円から3,000万円が必要とする独自の試算をしていたことが国会で持ち上がった。

つまり、麻生金融相が所管する金融庁自身も、年金だけでは足りないスタンスだったことに。

しかし、麻生金融相は「これは最終報告書じゃないね。途中経過の話を拾い出してきた話を、今あなたがしゃべっている話だね」、

「(政府としては、年金で十分まかなえるという考えに変わりはないということですか?)基本的にはその通り」と述べた。

金融庁による老後の試算については、当然、国会でも。

蓮舫副代表「『最大3,000万円の資産形成額がある』これはなんですか?」

麻生金融相「各個人によって退職後の支出や収入は大きく異なるため、一律に必要な資産形成額を示すものではないと」

蓮舫副代表「これも不適切ですか?」

麻生金融相「この資料が、退職後に3,000万円不足するような誤解や不安を招くものであれば、同様に不適切ということになる」

蓮舫副代表「政府の方針として、年金100年安心なんですか?」

麻生金融相「この制度というものは、100年間安心というのを大前提にして、そのかなりの部分をこの年金でまかなえる。年金制度が安心はうそだったのではないかというふうなつもりはまったくございません」

蓮舫副代表「2008年3月号の月刊誌、麻生さんがおっしゃっているのは、『国民皆年金はもはや死語』、『未納問題の解消は難しい』、『年金財政は破綻している』と指摘している。今も同じ認識ですか?」

麻生金融相「基本的に、そのような...そのような...今も...今のわたしの気持ちを聞かれば、わたしは年金が破綻すると思っていることはございません。より安心なものになってきていると思います」

19日、1年ぶりに開かれる党首討論でも激論が交わされる見通し。

「新たなミス 遺憾だ」秋田市長 標高調査データの誤り受け

NHK2019年6月18日 16時51分



秋田市が配備候補地となっている新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」をめぐる防衛省が示した調査データのうち、新たに山の標高にも誤りがあったことを受け、秋田市の穂積市長は「またミスが明らかになったことは遺憾だ」と述べ、防衛省に対し、再調査を行ったうえで具体的な説明をするよう求める考えを示しました。

18日、秋田市役所で取材に応じた穂積市長は「きのう、岩屋防衛大臣と会談した際、ほかにもミスが出てくる可能性があるという思いで、調査結果を調べて説明してほしいと言ったが、今回、こういった形で新たなミスが明らかになったのは遺憾だ」と述べました。

そのうえで「もう一度、すべて点検するという原点に立ち返ることが大事だ」と述べ、防衛省に対し再調査を行ったうえで、具体的な説明をするよう求める考えを示しました。

秋田市は今後、防衛省が再調査を行った結果を独自に検証するこ

とにしていて、穂積市長は「なぜ新屋演習場が適地なのか、市民の目線にたって問いただしていききたい」と述べました。

イージス・アショア 「近接場所なら体温上昇」 岩屋防衛相 NHK2019年6月18日 14時13分



新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備をめぐり、岩屋防衛大臣は、レーダーに近接した場所では、電波によって体温が上がる症状が出る可能性があるものの、住民が立ち入れないよう安全対策を取る考えを示しました。

政府が、秋田市と山口県萩市に配備する方針の「イージス・アショア」をめぐるのは、地元住民から、レーダーの電波による健康への影響を懸念する声が出ています。

これについて、参議院外交防衛委員会で、岩屋防衛大臣は、出力を最大にしたレーダーの周囲50メートルに10分間、妊婦や子どもがいた場合の影響を問われたのに対し、「体温が上がる症状が出る可能性があり、身体に異変を生じるおそれがある」と述べました。

そのうえで「レーダー周囲の防護壁に電波の吸収体を設置し、妊婦や子どもが立ち入ることができないよう、警備体制や施設をしっかりと整えていかなければならない」と述べ、住民がレーダーの周囲に立ち入れないよう、安全対策を取る考えを示しました。一方、秋田市の配備候補地での津波の影響を資料に記載しなかったことについて、「敷地造成を行って平坦な土地にするため、津波の影響は回避できると判断した。説明しなかったことは反省しており、しっかりと説明し直したい」と述べました。

JNN6月18日18時49分

出力最大のイージス・アショア、誤接近で体温上昇の可能性

ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備をめぐり、野党側が、出力最大のレーダーを50メートル離れた場所で、誤って10分間受けた場合の人体への影響を質しました。

「体温が上がる症状が出てくる可能性があるわけで、身体に異変を生じるおそれがあるということだと思う」（岩屋毅防衛相）

これに対し、岩屋防衛大臣は、「身体に異変を生じる恐れがある」と述べました。

ただ、これは総務省の電波防護指針が守られていない場合であり、人体に影響が出ないよう安全対策を取った上で、一般市民が施設内に立ち入ることがないよう警備態勢を整えるとしています。

今度は山の高さ3m誤り イージス・アショア調査データ 防衛省
NHK6月18日11時58分



新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備候補地の秋田市に関連する調査データに誤りがあった問題で、岩屋防衛大臣は、地形を検証する資料で、新たに山の標高についても誤りがあったことを明らかにし、陳謝しました。



新型迎撃ミサイルシステム、イージス・アショアの配備をめぐり、秋田市に関連する調査データのミスや、住民説明会で職員が居眠りしたことなどに地元では反発が広がっています。

こうした中、岩屋防衛大臣は記者団に、「グーグルアース」を使って作った秋田市以外の調査地点の地形を検証する資料の中で、新たに山の標高についても誤りがあったことを明らかにし、「誠に申し訳なく思っており、あつてはならないことだ」と陳謝しました。

ただ、ミスによる標高差は3メートルと小さいことから、配備の適否の判断に大きな影響を与えることはないとしています。

岩屋大臣は「現地の調査をしっかりと行い、資料を修正して具体的に分かりやすい説明ができるようにしていきたい」と述べ、今後、追加の測量などを行ったうえで、改めて地元で説明し配備に理解を求めていく考えを示しました。